

# 京都府内の過去の水害

京都府では、昭和10年の鴨川大水害、昭和28年の南山城水害など、これまで各地で何度も大きな災害に見舞われてきました。

昭和26年(1951)  
7月水害  
京都市・亀岡市 / 死者・行方不明者114名 / 被害額62億円 / 平和池(亀岡市)の決壊

昭和34年(1959)  
8.13水害  
府内全域 / 死者14名 / 被害額52億円

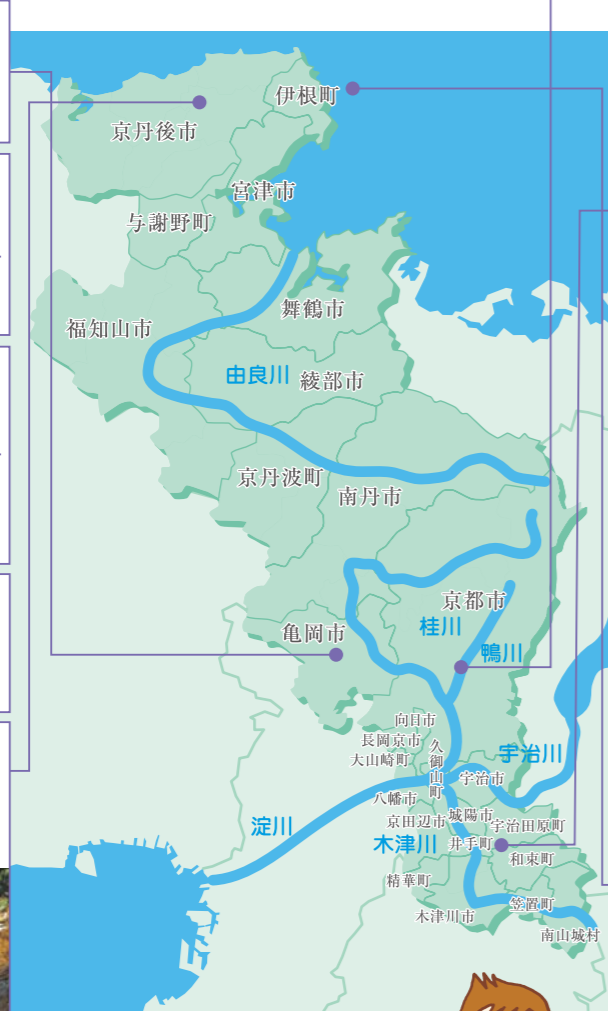
伊勢湾台風  
府内全域 / 死者9名 / 被害額83億円

昭和36年(1961)  
第2室戸台風  
府内全域 / 死者12名 / 被害額73億円

10月水害  
府内全域 / 死者・行方不明者4名 / 被害額28億円

昭和58年(1983)  
台風第10号  
府内全域 / 死者2名 / 被害額273億円 / 土師川(福知山市)のはん濫

平成18年(2006)  
梅雨前線豪雨  
中丹・丹後地域 / 死者2名 / 被害額33億円



昭和10年(1935)  
鴨川大水害  
京都市 / 死者12名 / 五条大橋など、多くの橋が流出



昭和28年(1953)  
南山城水害  
南山城地域 / 死者・行方不明者336名 / 被害額151億円 / 大正池(井手町)の決壊、天井川のはん濫



台風第13号  
府内全域 / 死者・行方不明者120名 / 被害額666億円

昭和47年(1972)  
7月豪雨  
府内全域 / 死者8名 / 被害額90億円

台風第20号  
府内全域 / 死者・行方不明者9名 / 被害額184億円

平成16年(2004) 台風第23号  
中丹・丹後地域 / 死者15名 / 被害額約697億円

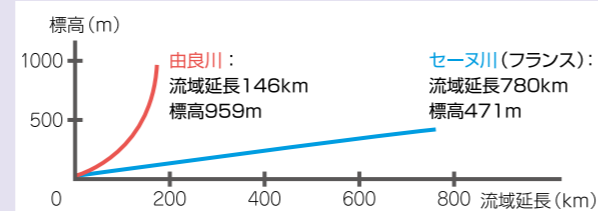
人ごとじゃないな

最近では地球温暖化の影響とも言われる集中豪雨が多くなってきているんだよ

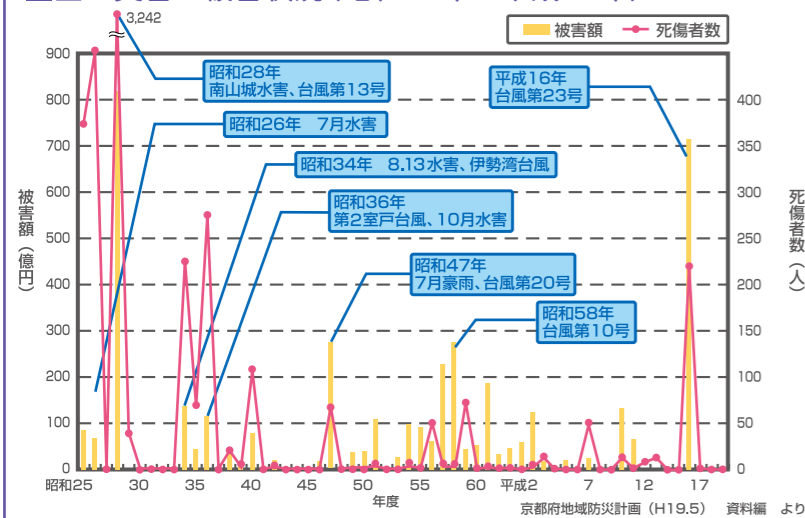
私たちのまちの近くでも起こってるね。

## ■流れが急な日本の河川

日本の河川は諸外国に比べ急勾配で、降った雨は山から海へ一気に流れます。京都府内の河川も例外ではなく、豪雨となると一気に河川を下り、平地に水があふれ出るようになります。



## ■主な災害の被害状況(昭和25年~平成17年)



# 防災ハザードマップって知ってる?



京丹後市防災マップ(峰山町版)

## 防災ハザードマップとは…

河川が大雨で増水し、はん濫した場合の浸水想定区域や、避難所などが記されているもので、住民のみなさんに配布されるものです。

いざというとき、あわてず行動できるように日頃から家や学校などの周りの様子を知っておきましょう。



## キーワード

### 【避難準備】

洪水や土砂災害による被害が発生するおそれが高くなったときに発表されます。避難の準備として、テレビやラジオの情報に注意しましょう。避難に時間のかかる人はこの段階で避難しましょう。

### 【避難勧告】

被害が発生するおそれが非常に高くなってきたときに発表されます。家族や周りの人たちと声をかけ合い、注意してすみやかに避難しましょう。

### 【避難指示】

被害の発生が高くなってきたときに発表されます。すぐに避難しましょう。時間がないときは2階へ避難するなど命を守るための行動をとってください。



ハザードマップって、みたことあるかな



川がはん濫した時、ぼくの家がどのくらいの深さまで浸水するのか、ちゃんと知っておかないとなあ



避難所の場所などを前もって確認しておくといいな



施設関連	土砂災害危険箇所
避難所	地すべり危険箇所
自主避難所	急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)
福祉避難所	土石流危険渓流: 主流路
警察署	土石流危険渓流: 土石流による被害のおそれのある区域
消防署	
医療機関	

## 浸水の目安

